

# 議会だより



## 笠懸南中学校創立30周年

笠懸南中学校は、笠懸町の人口の増加により、笠懸中学校から分離し、昭和57年4月1日に開校しました。以来、地域や保護者の温かい理解、協力に支えられ、生徒はもちろん、教職員の努力により創立30周年を迎えました。

笠懸南中学校では、「輝く笑顔、あふれる挨拶、みんなが誇れる笠南中」をスローガンに、学校行事や部活動などに取り組んでいます。

創立30周年を機に、教職員、PTA、地域との連携が強まり、素晴らしい教育活動が展開されることが期待されます。

## 平成23年第3回定例会(9月)

### 〈主な内容〉

一般議案・補正予算	2～3
決算特別委員会	4～5
常任委員会・広報特別委員会	6～7
一般質問	8～17
まちの声	18

# 平成22年度決算が 認定されました

第3回定例会は、8月31日から9月27日まで、28日間の日程で開かれました。

市長からは、平成22年度決算をはじめ、条例改正、平成23年度補正予算などの議案が提出されました。決算については、特別委員会を設置。慎重審議の結果、全ての議案が可決されました。

## ピックアップ

### ■平成22年度決算

『平成22年度一般会計決算  
実質収支8億2513万2188円に』

平成22年度一般会計の歳入決算額は、186億3747万9926円、歳出決算額は、176億1351万4911円で、歳入歳出差引額は、10億2396万9435円となりました。この差引額から、平成23年度に繰越明許費及び事故繰越しとして繰り越すべき財源の1億9883万724

7円を差し引いた実質収支額は、8億2513万2188円となり、そのうち、4億4600万円については、みどり市財政調整基金条例に基づき積立を行い、結果、3億7913万2188円を翌年度への繰越金としました。

### ■平成23年度一般会計補正予算

#### 『旅券発給事務事業』

116万7千円

#### 『源泉ポンプ交換事業』

震災によるカタクリの湯の源泉ポンプの損害に伴い交換するものです。

650万円

#### 『学校管理事業』

福岡西小学校統廃合に伴うスクールバス購入によるものです。

1426万円

中学生海外研修派遣事業の東日本大震災に伴う代替事業として、芸術鑑賞事業を行うものです。

318万円

#### 『浄化槽設置整備事業』

1818万8千円

#### 『商工会事業補助金』

プレミアム付き商品券事業

450万円

#### 『自主防災組織育成補助金』

200万円

## 審議結果

可決、認定された議案は次のとおり

- ◆ 平成22年度一般会計決算
- ◆ 同 鉄道経営対策事業特別会計決算
- ◆ 同 国民健康保険（事業勘定）特別会計決算
- ◆ 同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計決算
- ◆ 同 老人保健特別会計決算
- ◆ 同 後期高齢者医療特別会計決算
- ◆ 同 介護保険（保険事業勘定）特別会計決算
- ◆ 同 介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計決算
- ◆ 同 戸別浄化槽事業特別会計決算
- ◆ 同 簡易水道事業特別会計決算
- ◆ 同 農業集落排水事業特別会計決算
- ◆ 同 下水道事業特別会計決算
- ◆ 同 富弘美術館事業特別会計決算
- ◆ 同 競艇事業特別会計決算
- ◆ 水道事業会計決算
- ◆ 同 国民宿舎事業会計決算
- ◆ 学校設置条例の一部改正（平成24年3月31日をもって福岡西小学校を廃校し、同年4月1日より大間々北小学校に統合するものです。）
- ◆ 財産の取得（消防団第9分団の水槽付消防ポンプ自動車の買い替えにより、1531万3797円で購入するものです。）
- ◆ 市道の路線廃止
- ◆ 市道の路線認定
- ◆ 平成23年度一般会計補正予算
- ◆ 同 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算
- ◆ 同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算
- ◆ 同 後期高齢者医療特別会計補正予算
- ◆ 同 介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算
- ◆ 同 介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算
- ◆ 同 戸別浄化槽事業特別

## 9月補正予算の状況

一般会計		補正額	4億7308万2千円
		補正後の額	178億5350万6千円
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	補正額	4298万1千円
		補正後の額	59億0327万1千円
	国民健康保険 (診療所勘定)	補正額	2916万5千円
		補正後の額	1億7364万8千円
	介護保険 (保険事業勘定)	補正額	5220万3千円
		補正後の額	34億1354万9千円
	介護保険 (介護サービス事業勘定)	補正額	5万0千円
		補正後の額	1428万4千円
	簡易水道事業	補正額	▲ 18万4千円
		補正後の額	5259万2千円
	下水道事業	補正額	30万0千円
		補正後の額	8億6364万2千円
事業会計	富弘美術館事業	補正額	▲ 456万1千円
		補正後の額	3億3878万5千円
	競艇事業	補正額	2630万8千円
		補正後の額	586億7979万9千円
	水道事業会計	補正額	330万2千円
		補正後の額	13億9801万3千円

- ◆ 会計補正予算
- ◆ 同 簡易水道事業特別会計補正予算
- ◆ 同 農業集落排水事業特別会計補正予算
- ◆ 同 下水道事業特別会計補正予算
- ◆ 同 富弘美術館事業特別会計補正予算
- ◆ 同 競艇事業特別会計補正予算
- ◆ 同 水道事業会計補正予算

### 請願

○ 小野満徳彦議員の選挙収支報告の虚偽および居住の事実について調査を求める請願

↓ 採択

○ 笠懸野文化ホール使用料減免基準の見直しを求める請願

↓ 継続審査

### 議会議案

小野満徳彦議員に対する議員辞職勧告決議案

「小野満徳彦議員の選挙収支報告の虚偽および居住の事実について調査を求める請願」の審議結果を受け、本議案が提出された。提案理由としては、選挙収支報告の虚偽報告、領収証の偽造、さらには、選挙

### 監査意見書の要旨

前後のみどり市大間々町高津戸895番地での居住の実態がなかったことを自ら

認めていることなどが挙げられ、賛成12、反対5、退席1で可決されたものです。く、今後も自主財源確保のため継続的な努力が必要である。

歳入は、一般会計決算額が186億3747万9926円で、対前年度比3.0%の減額となった。景気低迷の影響により歳入の約3分の1を占める市税は、収入済額で対前年度比1.1%の減額となっている。一方、市の徴収体制の確立やコンビニ収納など納税者に対する利便性向上策により一定の成果が得られ、収入未済額は対前年度比14.4%の減額となった。なお、地方交付税は国の政策により増額となっている。繰入金金は財政調整基金を取り崩さなかったため、大幅な減額になったが、持続可能な健全財政の維持に一定の評価ができる。しかし、依然として経済情勢は厳し

歳出は、一般会計決算額が176億1351万4911円で、対前年度比3.1%の減額となった。当年度決算においても当初予算額と執行額に大きな隔たりが確認されたため、予算編成の段階から徹底した業務の見直しを行い、引き続き最小経費で最大の効果を得るための業務執行ができるよう各職員の意識改革を望む。



▲天川 洋 代表監査委員

# 決算特別委員会



## 付託された議案

本委員会に付託された案件は、平成22年度みどり市一般会計歳入歳出決算の認定から平成22年度みどり市国民宿舎事業会計決算の認定までの議案16件である。

本委員会は、9月9日に議長を除く19名で構成される特別委員会として設置され、正副委員長を選任し、9月12日、13日、14日の3日間にわたり、議会議場において委員出席のもと、市長、副市長、執行部の出席を求め審査を行なった。

決算審査に当たって、執行部から提出された決算書そのほか説明資料をもとに担当部長、担当課長から詳細な説明を受け、各議案とも慎重に審査し、採決した結果、全議案を原案のとおり認定すべきものとすることに決定した。

なお、審査の過程においては、各委員から慎重な指摘及び要望、意見が述べられ、今後行政執行の上で充分留意するよう指摘があった。

## 主な質疑

**問** 歳入において、分担金、負担金、住宅使用料など、収入未済額が増えているが、原因と解消策は。

**都市建設部長** 長引く景気低迷が多くの原因と思われる。収納に当たっては督促、家庭訪問をくり返し、お願いはしている。結果、滞納の解消はある一方、新たな滞納も増えている。引き続き収納の努力をしていく。

**問** 平成22年度から義務化された通称ALTについて報酬の適正性や現状の人員など詳細を確認したい。

**学校教育課長** 現在、市とし

## 傍聴をお待ちしています

議会では、市の様々な計画はもちろん、市民の皆さんの生活に直結した事柄も議論されています。市民の皆さんに親しみある議会となるために、大勢の傍聴をお待ちしています。

また、ご意見ご要望もお寄せください。

みどり市議会事務局 ☎76-1970

## 会議録をご覧ください

市議会の会議録をインターネットで公開しています。市のホームページに掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。



みどり市役所 大間々庁舎



▲古田島 和茂 委員長

て雇用している外国語指導助手は9名でJET委託3名、業務委託3名、直接雇用3名となり、9名中4名が月額30万円。

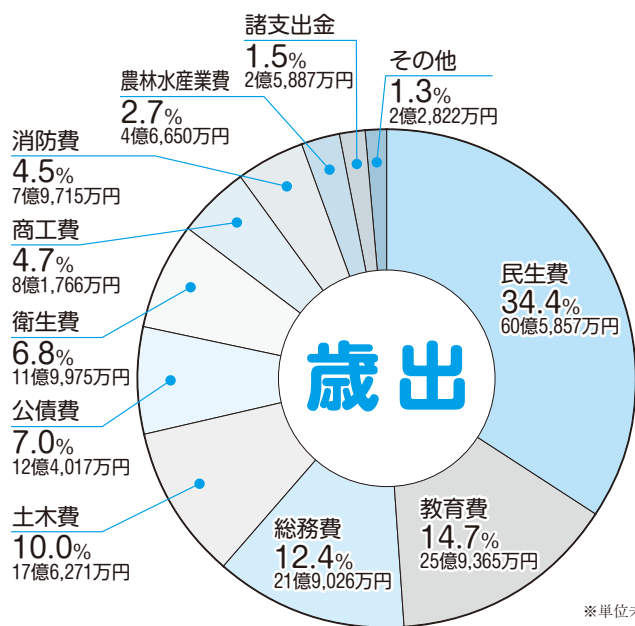
**問** 要保護、要保護の子ども達に対して配慮が足りないのではないか。

**学校教育課長** 御指摘のような状況がないよう配慮する。

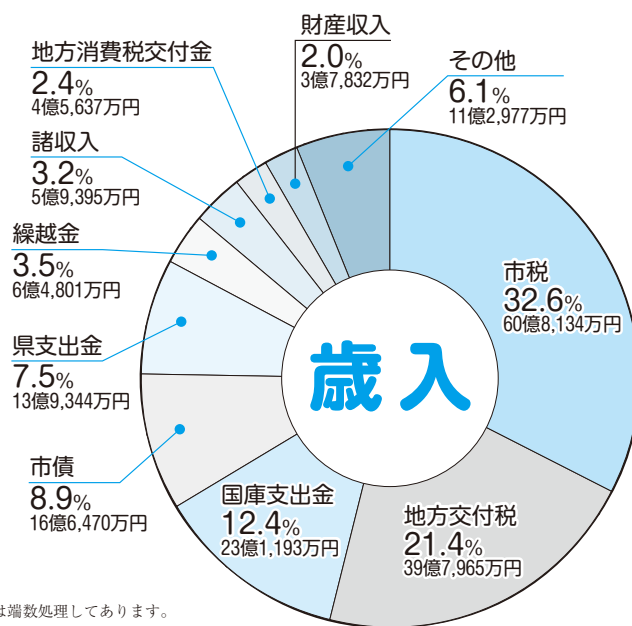


# 平成22年度 一般会計概要

一般会計歳出決算額 176億1,351万円



一般会計歳入決算額 186億3,748万円



※単位未満の額は端数処理してあります。

## 特別会計

会計名	歳入	歳出
鉄道経営対策事業特別会計	8,069万円	8,069万円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	58億7,557万円	55億9,198万円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	2億5,604万円	2億0,988万円
老人保健特別会計	232万円	232万円
後期高齢者医療特別会計	3億9,048万円	3億8,665万円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	32億0,877万円	31億6,506万円
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	1,489万円	1,438万円
戸別浄化槽事業特別会計	1,613万円	1,408万円
簡易水道事業特別会計	5,044万円	4,370万円
農業集落排水事業特別会計	7,174万円	6,775万円
下水道事業特別会計	12億4,177万円	9億7,548万円
富弘美術館事業特別会計	3億7,268万円	3億6,747万円
競艇事業特別会計	576億7,463万円	572億4,034万円

## 事業会計

会計名	区分	収入決算額	支出決算額
水道事業会計	収益的収入および支出	10億2,956万円	9億1,734万円
	資本的収入および支出	9,525万円	3億6,831万円
国民宿舎事業会計	収益的収入および支出	2億0,544万円	2億1,540万円
	資本的収入および支出	3,900万円	2,461万円

## 総務文教 常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと  
9月20日に開催した。

### 付託された議案

#### みどり市立学校設置条例の一部を 改正する条例

みどり市内の公立小中学校及び  
幼稚園15校を条例改正し、14校に  
変更するもの。

福岡西小学校を平成23年度限り  
で廃校にする内容協議を進め議案  
提出となった。

執行部からは、地区委員会、教  
育委員会などの協議の結果、廃  
止の議決が可決された。事務作業



▲福岡西小学校

として閉校記念誌の編さん作業や  
9月27日から児童の交流学习、交  
流活動を予定。質疑では、通学バ  
ス購入や統合の進ちょく状況はど  
うかなどあり、それぞれに詳細な  
説明があり、特に質疑討論もなく  
挙手による採決の結果、賛成全員  
により原案のとおり可決すべきも  
のと決定。

#### 財産の取得について

みどり市消防団第9分団の消防  
車両を入れ替えるもの。

執行部から、地方自治法、条例  
の規定に伴って議会の議決を求め  
るもの。

質疑では、買い替え順序は、第  
9分団で適正なのか。東日本大震  
災に伴い古い車両の寄付の件はど  
うなっているのか。購入の資金と  
なっている電源立地交付金はいつ  
まで継続になるか。ひとくくりで  
原価償却ではなく、耐久年数で  
行ったほうが適正だ。など、それ  
ぞれに詳細な説明があり、特に質  
疑討論もなく挙手による採決の結  
果、賛成全員により原案のとおり  
可決すべきものと決定。

### 付託された請願

#### 小野満徳彦議員の選挙収支報告の

#### 虚偽および居住の事実について調 査を求める請願

平成23年7月19日、請願者ほか  
紹介議員3名により提出された。

8月8日の臨時会において当委  
員会に付託となった。

審査については8月11日、8月  
17日、8月23日、8月26日、9月  
6日、9月16日、9月20日の延べ  
7回に渡り慎重に審査をした。  
審査事項に対する当委員会の判  
断。

審査の過程において、選挙管理  
委員会なども訪問、確認したが、  
選挙収支報告書の虚偽報告と添付  
領収書の偽造について、すべて小  
野満議員本人が行い、責任である  
ことを認めている。

また、居住の事実については、  
平成22年12月中旬から平成23年5  
月1日までの間、みどり市大間々  
町高津戸895番地には1日も居  
住しておらず、桐生市堤町の自宅  
に居住していたことが判明してい  
る。

また、5月1日以降は、みどり  
市大間々町大間々1805-3番  
地に住民票を移して、桐生市堤町  
の自宅から転居し、週の半分くら  
いはいるとのことだが、居住を確  
認するための光熱費等の領収書や  
自宅訪問については、弁護士と相

談するとして二度にわたる委員か  
らの要請にもいまだに提出や訪問  
が可とされず、居住の実態がある  
とは判断できない。

挙手による採決の結果、継続審  
査との意見もあつたが、賛成多数  
により原案のとおり可決すべきも  
のと決定。

#### 笠懸野文化ホール使用料減免基準 の見直しを求める請願

請願者ほか紹介議員1名として  
提出されたもの。

請願の趣旨は、ホール使用料負  
担があるので、行政機関や教育機  
関などが使用の大半をしめている  
現状がある。市民団体が文化ホー  
ルを利用しやすくするため、現状  
の減免の基準を見直してほしいと  
いう内容。

執行部より現状の説明を受けた。  
市民負担はあるが、みどり市全  
体としても年間約600万円の減  
免額を負担している現状など説明。  
また、他市の状況を説明され、  
他市と比べ減免額が大きいとの見  
解を示した。

委員からは、減免額推進論や、  
現状推進論などが出された。  
挙手による採決の結果、賛成多  
数により、継続審査とすることに  
決定。

## 経済建設 常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと  
9月16日に開催した。

### 付託された議案

#### 市道の路線廃止

都市建設部建設課より、笠懸町調整池事業に伴い道路としての機能が維持できなくなった一路線と大間々町の公図上に道路がなく、新設道路の計画もないため廃止する5路線について説明の後、質疑として、この地区は国土調査が入るので担当部局と連携を取って進めてほしいなどの意見あり。その後討論もなく、挙手による採決の結果、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定。

#### 市道の路線認定

都市建設部建設課より一部の路線変更、開発協議により道路寄付を受けた6路線の説明の後、討論もなく、挙手による採決の結果、賛成全員により原案のとおり可決すべきものと決定。

## 広報特別委員会 所管事務調査報告

7月13日14日の日程で、議会広報特別委員会の所管事務調査を実施した。

参加者は、宮崎武委員長、武井俊一副委員長、古田島和茂委員、須藤健久委員、須永信雄委員、齊藤潤委員、黒岩里香事務局長。

7月13日 千葉県富津市役所にて富津市議会だよりを調査研究した。

富津市議会は、議会広報委員会を特別委員会とはせず単に委員会としている。

注目すべきは、校正や編集など原稿作成に際して一切の作業を編集委員



が中心となり作成しているとのこと、みどり市議会広報特別委員会のように校正編集作業は行いが、原稿作成に対しては印刷会社に依頼するということではなく、経費削減に対して努力しているとのこと。

ここで、重要な部分は、委員が編集用のソフトを自ら使用しているという部分。

この作業を委員が行うということはもちろん、経費の削減に繋がるという部分もあるが、反面、パソコン利用はもちろん、専門的な知識を有しなくては、作業ができないということになり、現状のみどり市議会広報特別委員会では、難しい部分となる。全国的にもこういった事例は少ないが、できるのであれば思いどおりの文章表現など作成に対してより早い作業ができる。

みどり市でも、以前にソフト導入を検討したこともあったが、初期投資に百万円程度の支出を要するというところで決断はできなかった。思いどおりの議会だよりを作成するためには、最終的には検討もしていかなくてはならない部分も出てくるようだ。

ともかく、富津市議会広報委員会の議会だより発行にかける思いは委員各位がしっかり受け止めた。

みどり市でも生かしていきたい。



7月14日 埼玉県鴻巣市の会議録センターを視察、今回で2回目の視察となる会議録センターの視察だが、参考にしたいのは、文章校正の水準が



とても高いということである。

議会広報特別委員会として個々の委員の水準を高めるため、新たな構成メンバーとなったこともあり、再訪し知識の向上をめざした。

会議録センターは、多くの市町村の議会だよりも手がけているので、他市の良い部分を取り入れることも、参考にすることもできる。

今回の研修では、写真の使い方の中で、文章をクローズアップするための様々な写真の効果についても勉強した。

現状のみどり市議会だよりは、文章が多く写真が少ない、など指摘を受けたので、今後、作成に取り入れたい。



# 市政を問う

## 一般質問

### Q 東町の過疎地域自立計画は

### A 前向きに進めていくべき

古田島 和茂 議員



くべきと判断する。

問 過疎による防災機能の低下が懸念される。不足する消防団員の補完としての機能別消防団員の構築は。

総務部長 地域防災の大きな手段である。即戦力として期待するが、あくまで分団員の補完としての立場である。職務の範囲を整備できれば、市として位置付けをしたい。

問 少子化が著しい東町の学校の将来は。

教育部長 現在、あずま小学校は7学級に72人、あずま中学校は4学級49人である。再来年度には複式学級が出ると見込まれるが、市独自に補助教諭を置き、一学年一学級の対策を講じる。

問 過疎地域自立促進計画はあるものの東町の現状との整合性がとれていない。「買い物難民」対策はどうなっているか。

総務部長 買い物支援は福祉分野として位置づけ、高齢者福祉センター「まごころ」での対応を考える。地域全体の目玉とし、商工、産業観光を含め東支所の対策として前向きに進めている。

現況統合の考えはない。特色ある学校として小中学校連携の行事も可能である。

問 過疎法が延長となり有利な過疎債が幅広く利用できることとなった。投資的利用の考えは。

総務部長 今までも有効利用はしてきた。ソフト面にも利用することによりみどり市への集客力の向上、市の活性化の有効な手段となるなら先手を打つことがこれからは重要。さまざまなアイデアを吸収しながら検討していく。

討していく。

問 過疎解消対策の有効手段として就労の場の確保が求められる。特別養護老人ホームなどの誘致は考えているか。

保健福祉部長 地域に合った雇用の場の確保は必要。本年度グループホームが東町にできる。特養、老健に関し県の第5次整備計画もあり、計画の中で検討していきたい。

問 友好都市協定の意義と

今後の方針は。

総務部長 友好都市協定は市にとって有益なものと考えられる。市の売りアピールし他市との協定も考えたい。



▲高齢者福祉センター

### Q 教科書の採択とは

### A 学習しやすい教科書を

椎名 祐司 議員



することであるが、採択の権限、採択の方法、採択の時期などどのような手順で行われるのか。

教育部長 採択の権限は、みどり市教育委員会、採択の方法は、法律により定められている。市では、東毛第一地区教科用図書採択協議会の選定結果を受け、教育委員会会議を開催し、そ

の中で協議し、市内の学校において使用すべき教科書を種目ごとに1種採択することになっている。採択の時期は、前年度の8月31日までにに行わなければならない。

問 平成24年度使用の中学校の教科書採択は、教育基本法が改正され新しい学習指導要領のもとでの初めて

問 教科書の採択とは、学校で使用する教科書を決定

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。





上岡 克己 議員

## Q 景勝地瀬戸ヶ原の活性化は A 早川貯水池周辺の整備

の採択の年にあたる。平成18年12月に約60年ぶりに改正された教育基本法では「伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛すること」が教育目標の一つとして示されているが教科書採択に関わる基本方針は。

**教育部長** 豊かな情操や道徳心、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うためにどのように工夫されているかなど、すべての教科書について調査研究を行った。

**問** 教育基本法の改正内容や学習指導要領の改訂が十分に理解された上で、適切な教科書採択が行われることが重要であると思うが。

**教育部長** みどり市の児童生徒が学習しやすい教科書を採択することが重要であると考え、協議会における選定過程では、十分に意見を出し相当の時間をかけて協議し、納得した上で選定したものであり、適正に採択されたものと思っている。

**問** 開かれた教科書採択という観点から、多くの教科書見本を閲覧してもらう機会の創設も必要であると思うが。



**教育部長** 市民に広く教科書への関心を高めていただくために、教育研究所だけでなく市立図書館などにも教科書の展示を積極的に行えるような準備を進めていきたいと考えている。

**問** 関東平野を一望に見下ろす景勝地「瀬戸ヶ原」の活性化についてどのように考えているか。

**都市建設部長** 地形的に傾斜地であり、頂上には住宅地がある。その住宅に行く三つの路線は、道路の幅も狭く、アクセスが悪い。こ

れらが解消されれば、活性化や環境整備は進むものと考えている。

**問** 桐原配水場や給食センターのある10区からのアクセスについて、待避所などの整備をどのように考えているか。

**都市建設部長** 二つのアク

セスは、急勾配で道路が狭く岩も多いため、交互通行ができない状況にある。費用の面からみると改良、拡幅までは、非常に厳しい。便利さを向上すべく現場の調査をし対応する。

**問** 国道353号線からのアクセスはどうか。

**都市建設部長** 現在、調査を行っている。改良、拡幅した道路からまっすぐ下がつて、国道353号線に直角に取り付けができればと考えている。途中に住宅があるが、なるべく迷惑をかけないよう改良、拡幅を考えている。

**問** この地域の活性化策はほかにあるか。

**産業観光部長** 素晴らしいロケーションの早川貯水池周辺を整備しながら、市民の方々が気軽に立ち寄れる憩いの場所にしたり、ジョギングコースにするなどが想定され、現状は桐生市新里町も含まれる。

### その他の質問

○鳩ヶ谷市との友好都市提携について

**問** 桐生市との連携事業の席上、問題提起をしたかどうか。

**市長** 今のところ連携市長会議の議題になったことはないが、総合公園化の計画はある。この地域は、ぐんま昆虫の森や早川貯水池もあり一体的に整備をすべきと考えている。結果的に、みどり、桐生両市の発展につながり、観光名所になれば良いと考えている。チャンスがあれば連携市長会議で話したい。



▲瀬戸ヶ原

## Q 新型インフルエンザ対策は

## A 感染防止の周知徹底を図る

須藤 健久 議員



**問** みどり市民の生活安全・安心確保のため新型インフルエンザ対策についてたずねる。

予防・封じ込め対策。医療・保健機関との連携、市民への情報提供は。

**保健福祉部長** 予防・封じ込め対策は6点ある。

1、基本的には、うがい・手洗い・マスクなどの着用。

2、保育園・幼稚園・小学校へ臨時の休園・休校の要請。

3、新型インフルエンザが流行している地域への移動の自粛を要請。

4、感染防止のための患者の隔離。

5、不特定多数が集まる活動や行事の自粛を要請。

6、インフルエンザの症状がみられた方の早期受診の勧告を実施する。

医療・保健機関との連携では、予防接種の実施医療機関の把握。

新型インフルエンザ発生状況に関する情報提供を行い、保健所と感染拡大を防止するため、発熱外来などの設置について検討する。

市民への情報提供は、感染事例などの情報を収集し対策本部を設置し関係者で情報を共有する。その情報はパニック防止のために広報誌・ホームページ・回覧板・新聞などを活用してわかりやすく情報提供し、正しい知識の普及や感染防止の周知徹底を図る。

**問** 一人暮らしの高齢者に対する新型インフルエンザ

対策についてたずねる。

**保健福祉部長** 平成23年6月1日現在、本市に1284名の一人暮らしの高齢者がいる。インフルエンザを特定した夜間診療体制は整っていないので、救急病院などを利用する。

地域での見守り活動が重

要で、地区の民生委員の協力を受け健康状態の確認を行い適切に対応する。

**問** 教育の場での新型インフルエンザ対策をたずねる。

**教育部長** 平成23年1月から3月の間に約600人の児童・生徒がインフルエンザで欠席した。早期にまん延を防止するため、市内の各学校の感染状況を正午までに情報共有できるように整備している。

その他の質問  
○群馬DCの期間中とその後の活動について



## Q 職員の価値を最大化する育成を

## A 何が正しいかで判断できる職員を育てたい

齊藤 潤 議員



**問** 現状の市民満足度の実態は。

**総務部長** 平成21年度に実

施した市民アンケートでは、窓口対応については、「満足」「どちらかと言えば満足」「普通」を合わせると、83・5%。電話対応については、88・7%。平成22年度は、それぞれ、84・7%と、90・8%となっている。

**問** 今まで、市民の満足度向上に向けての取組みは。

**総務部長** 新規採用職員の研修が重要と認識している。

特に、接遇に力を入れ、研修の実施や電話応対コンクールへの参加、抜き打ち電話応対診断などを実施している。

**問** そういった研修などが市民満足度の向上に効果があるかと判断をした理由は。

**総務部長** 若い最前線にいる職員の市民に与えるイメージが大きいと受け止めている。今後も努力を継続

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



須永 信雄 議員

## Q 納税者には大きな負担がかかっている A 収納率は昨年を下回っていない

**問** 税収納に関して、リーマンショックや東日本大震災による社会情勢の悪化により、納税者には大きな負担が掛かっている。にもかかわらず収納率が維持できているのは市民の努力によるものだ。

**市民部長** リーマンショック

クなどの話があったが、現状での課税額、収納率については昨年を下回っていない。それは、納税者の理解だ。

**問** 収納方法は色々あり、納付書や口座振り込み、国民年金などからの特別徴収によるものがあるが、地域

していききたい。

**問** 市民満足度の向上のため、こういった点に重点を置いた研修を実施していく方針か。

**総務部長** 研修で学んだことを実際の職場で生かす、その繰り返しを推進していきたい。

**問** 昨年度から開始された、メンタルヘルス研修の目的と重点を置いている内容は、**総務部長** 平成21年度の病休者が延べ15名であったが、心の病の人を減少させていくためにメンタルヘルス研修を実施した結果、平成23

年度は、現在のところ3名となっている。

**問** 職員のモチベーションを高めるための取組みは、**総務部長** 現在進めている人事評価制度の確立が重要であると考えているが、給与が抑えられる状況にある現在では、士気が低下してしまう実態も正直あるのも事実。しかし、それが全てではないとも認識している。

**齊藤** 市民満足度の向上のために、職員一人ひとりの価値を最大化するための育成方法をさらに研究してほしいが。



▲職員研修

**市長** 価値基準として、誰が正しいかではなく、何が正しいかで判断ができ、失敗を恐れずに取り組んでいく職員を育成していきたい。

が広いのが難点だ。口座振り込みの拡大が可能であれば使用できるATMも金融機関だけでなく、コンビニでもカード1枚で入金できる便利だ。今後も推進すべきでは。

**市民部長** 現在では納付書によるものが30%ほどある。今後、口座振り込みの利用も進めていきたい。

**問** 最近、納税について相談が増えている。納税課としては、法令に則って差押えを行なっているが、トラブルの原因になっていると言ふことは、過度の差押え執行があるのか。

**市民部長** 差押えまでの手続きだが、督促状、催告書、差押えと流れもあり、電話をしたり訪問したりしている。納税課としては色々相談も受けており、納税から医療、福祉、年金、借財、就職さらにはDVの関係まで多岐にわたり相談にのっている。

**須永** くれぐれも丁寧な対応を望む。

**その他の質問**

○みどり市の将来のスポーツを背負う子供たちについて

○人事評価制度について



▲ATM



## Q 産業振興会議の設置を

## A 実行性のある組織を検討

藤生 英喜 議員



に着手されており、その延長についても県と協議し努力したい。

**問** みどり市は、合併前後を通して、事業所、商店、農家数が減り続けている。

雇用、所得、税収を得るための基盤づくりがみどり市最大の課題。北関東自動車道開通による経済効果の誘引策、アクセス道渡良瀬軸構想の推進が重要になってくると思うが。

**産業観光部長** 観光、産業振興の面で期待している。みどり市に効果が及ぶよう取り組んでいきたい。

**都市建設部長** アクセス道の西部幹線については、50号バイパスまでの計画が既

に着手されており、その延長についても県と協議し努力したい。

**問** 計画なくして成果なし。市の現状を調査し、産業振興策を練り、実行策を見いだすため、研究者や経済界の知恵を集める場、産業振興（戦略）会議なるものを設置し、計画的な振興策に取り組むべきと思うが。

**市長** 実行性のある組織を検討していきたい。

**中山間地の振興について** 山間部の多いみどり市の森林、林業の現状は。

**産業観光部長** 市の面積の8割以上が林野で、そのうち9割が私有林である。樹齢については、植林後、40年以下のものが6・5%、50年以上で80年までのものが26%、90年以上経過したもの

のが67・5%である。

**問** 今年は世界森林年、地球環境問題などもあり、森林をとりまく経済環境も大

過疎化の防止にもつながる。みどり市はどう取り組んでいくか。

**産業観光部長** 森林組合と協力し、作業道の整備、林業機械の導入など支援し、今後も努力していく。

**副市長** 林業の再生は期待できる。木を切り出すだけでなく、付加価値をつける工場の整備など市として努力する必要がある。

**問** 笠小分離の新設校にみどり市の木材を考えては。



▲間伐材の遊具

## Q がん検診の個別検診化を

## A 医療機関や医師会との調整を行い導入に努めたい

高草木 良江 議員



館などに洋式トイレの整備を。

**総務部長** 災害時に高齢者や障がい者、要援護者の方が使用すると想定した洋式トイレの配備は望ましい。

教育委員会と調整しながら設置を進めたい。

**問** 災害弱者への情報の伝達の推進にメールの活用を。

**保健福祉部長** 防災情報のきないか。

メール発信は有効。今後は災害弱者の加入を進めたい。

**問** 高齢者住宅改造費補助金交付事業・重度身体障害者（児）住宅改造費補助金交付事業・介護車両購入費補助事業は、償還払いで利用者が一時的に多額の費用を負担しなければなら

ないが、受領委任払い方式で

きないか。

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。

**Q** 大間々庁舎への市長部局の移動は

舎へ移すと多額の費用が掛かるという一面もある。

問 「二日の遅れは、十

日の遅れ」と言う諺ことわざがある。大間々庁舎に移動することを先送りすればするほど、移動時に大きな無駄ムダが生じる。早く決断をすべきだ。職員からも過去に何度か大間々庁舎に市長部局と議会の一体化の提案があった。災害対策本部の設置を

**問** 施設面では、大間々庁舎のほうが安全性で優っている。災害対策本部は、いざという時に総指揮をとる本丸だ。なのに耐震補強が必要な笠懸庁舎に本部を置くのか。大間々庁舎への市長部局の移動だが、急に移転することは不可能だろう

**保健福祉部長** 早速に受領委任払い方式を要綱に入れて、市が補助金額を直接業者に支払い、対象者の負担を軽減して利用しやすい制度に変えたい。

**問** 県も女性の健康支援対策事業で平成20年度より、毎年3月1日から3月8日までを「女性の健康週間」として展開しているが。

**保健福祉部長** 女性の健康づくりに対しては、各町の健康センターで月1回の相談を実施している。今後は各種啓発事業や行事を可能な限り期間内に開催できる

よう、機関団体などで調整したい。

**問** 高崎市では、半日でま

とめて実施できるがんのセツト検診を導入した。がん検診の個別検診を導入することへの見解は。

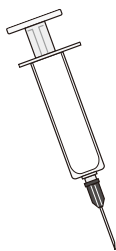
努力をしているが、受診票とともに配布すれば受診率向上にもなるが。

**保健福祉部長** 平成23年度検診が始まる前に各対象者に配布できず大変ご迷惑をかけた。今後は対象者全員

にポイントカードが渡るよ  
うに工夫する。

**その他の質問**

- 繊維筋痛症の周知把握を
- 空き家再生等推進事業の活用について



決める前に、みどり市の理想的な組織のあり方と共に検討し、働きやすく無駄な経費をなくす組織体制を目指すべきでは。

**総務部長** 職員からそのよ

から、数年後ぐらいの期限を決め、準備をすべきでは。  
**総務部長**　すぐに移転ありきとは言えないが、議論する重要な時期に来ていると感じる。

うな意見があったことは承知しているが、公式の場での議論はされていないし、そこまでは至っていない。

市長 災害対策本部設置の

会議では、庁舎利用の優先位の話は出していない。

東日本大震災を受けて

各地の自治体が、災害対策本部のある庁舎は安全な場所に、という認識の一致があったが、笠懸庁舎の耐震診断は。

総務部長 補強の必要あり  
のC-2で、特に一階は耐  
震性が低いと判定されてい  
る。

施設面では、大間々庁

舎のほうが安全性で優って

いる。災害対策本部は、い

ざという時に総指揮をとる

本丸だ。なのに耐震補強が

必要な笠懸庁舎に本部を置

くのか。大間々庁舎への市

長部局の移動だが、急に移

転することは不可能だろう



▶ 笠懸庁舎

## Q 流動資金で利払いの圧縮は

## A 交付税措置等があり難しい

田部井 多市 議員



の住民にも及ぶので、住民負担の調整として、交付税措置のある市債の発行を心がけている。減債基金で若干の繰上げ償還ができるが、一般的に言われる繰上げ償還はすべきでないと解釈している。

**問** 平成21年度財務諸表の行政コストの内訳を見ると約4億円の利払いがあるが、財政調整基金や減債基金を取り崩し、利払いの圧縮ができないか。

**問** 市債を減額するという目的の減債基金が約2億円ある。半分でも繰り上げ償還できないか。

**総務部長** 財政資金融資は、繰上げ償還しても補償金の支払いが生じ、また市債を発行し事業を実施することから、計画的な財政運営に反するという点からも難しい。

**総務部長** 償還期間を繰り上げる場合、以下の条件が必要だ。「著しく高い利息を借り替えるとき」「特定の資産の償還に充てるとき」「他の年度に比べ著しく多額な償還が生じたとき」以上の条件のもと減債基金を充てている。

**問** 地方財政法で設置が義務づけられている基金だが、地方債の繰り上げ償還も容認されているのでは。

**総務部長** 市では執行計画表を作成し年間収支のバラ

**総務部長** 事業効果は後世

表を作成し年間収支のバラ

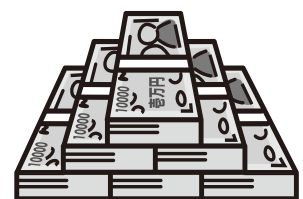
ンスをみて、歳計現金の短期の積み立てなど効率的な運用を図っている。

**問** 平成23年度の試算で10

年後、約12億4000万円の地方交付税減額が予測されているが対策は。

**市長** 経常経費の削減はもとより各部署長を中心に無駄をなくすことを心がけている。また費用対効果の高い事業への予算配分をして10年後の予算適正規模に向

けて努力したい。



## Q 小水力発電の認識は

宮崎 武 議員



が変わった。みどり市においても意欲的に推進したい。

**問** 調査を行った中、市内3箇所が適地と判明したが、笠懸町の清水新沼に設置し、足元を照らすライトに利用してはどうか。

**総務部長** 早期に検討していく。

**問** 今夏もゲリラ豪雨や雷の被害が多く発生した。今後の対策は。

**問** 市道1298号線のその後の対応ということを確認する。歩道設置の件はどうなったのか。

**都市建設部長** ゲリラ豪雨対策は、道路の冠水、農業用ため池の氾濫など多岐に渡っている。道路の冠水は順次、側溝を付け調整池も

**都市建設部長** 調査をして

中心だった。指摘のとおり3月の原発事故以降、認識

用水の関係などもあつて遅

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。





常見 詔子 議員

## Q 財源確保に力をいれてほしい A 対等な立場で交渉をしている

**問** 平成23年度の契約はできているのか。  
**競艇事業局長** 4月より交渉しているが契約は、まだできていない。  
**問** 予算が計上され、5カ月が経過しているのに、今年度の契約ができていないのか。

**競艇事業局長** 本来は契約されていることが望ましいが、運営上は支障がない。  
**問** 監査事務局長の経験者としてどう思うか。  
**総務部長** 何か理由があったと思う、今後は適切に対応したい。  
**問** 水面使用料の契約はで

きているのか。  
**総務部長** 平成23年7月22日に、4月1日付で契約した。  
**問** 契約する委託会社関係から、寄付を受けた理由は、  
**総務部長** 車2台について市は求めている。契約とは別で、寄付者の好意として受けた。  
**問** 市民は、市が提出した要望書や制度改正分の約8億2330万円、基本合意もできていないと思う。総売上の400億円を超える部分の交渉もだめ。もっと財源確保に努力をしては。  
**副市長** 年度当初に契約すべきが、東日本大震災でびていて。  
**問** 400億円超の分と施行者協議会や国の制度改正分はどうなったのか。上乗せ分を平成21年度の521億8000万円で計算すると、1億2180万円になる。財源確保のため、平成23年度の契約や要望書10年経過後の新体制など、弁護士をいれて市にとって有利な契約を結ぶ努力を。  
**競艇事業局長** 今後の契約

の文面なども相談したい。  
**市長** 平成18年度から今まで委託会社とは対等な立場で交渉している。  
**問** 学校給食費無料化について義務教育は無償というが、とてもお金がかかる。子どもの健全な心と体をつくる観点から、給食費の無料化の考え方を聞きたい。  
**市長** 給食費無料化の思いは理解する。先進的な事例や情報を集めて、どんな政策がいいか今後も研究していきたい。

れている現状だ。  
**問** 段階的に高さがある道路の危険度を少なくするための工事を早期に推進できないか。  
**都市建設部長** ガードレールなどを中心に検討する。  
**問** 1298号線は笠懸庁舎北側から西に向かっていく道路である。その間、坂本建設資材置場までの事故が多い。今後の対策は。  
**総務部長** 事故多発のA地点については、今年度中に信号機設置の予定だ。BからH地点までの各十字路口も事故撲滅の対策を検討している。  
**問** 教育の一環として、壁画を小学生に描いてもらうのはどうか。  
**教育部長** 交通安全に役立てる絶好



年 度	総売上	利益保証分	沼貸貸料	SG.上乗せ分など	市の収入額
平成16年度	394億3165万円	3億円	3億円	なし	6億0000万円
平成17年度	427億5403万円	3億円	3億円	6377万円	6億6377万円
平成18年度	429億6427万円	2億円	2億円	1億1482万円	5億1482万円
平成19年度	485億0634万円	2億円	3億円	3000万円	5億3000万円
平成20年度	532億7691万円	2億円	3億円	3000万円	5億3000万円
平成21年度	521億8001万円	2億円	3億円	3000万円	5億3000万円
平成22年度	416億7312万円	2億円	3億円	6192万円	5億6192万円
平成23年度		2億円の見込み 未契約	3億円	3000万円の 見込み	5億000万円の 見込み

## Q 避難所に公用車の配備を

### A 配備はこれから考えていく

武井 俊一 議員



職員の対応も含めて、市民の安全安心に学校を活用するという観点から、これらの課題に一層力を入れていく必要があると考えている。

**市長** その地域における災害をきちんと予想した上で、その機能が備わっているかどうかということが大事である。

水被害を防止するための計画については。

**副市長** 笠懸町は、河川がないというところが、長年の懸案であった。河川がでないのであれば、調整池を作り、水を時間調整しながら排水するということで、

国、県の事業が進んでいる。調整池が完成し、笠懸町の水も接続すれば排水は改善されると思っています。

#### その他の質問

○みどり市のピール活動



## Q 50号沿線に「道の駅」を

### A 地域活性化の起爆剤に

大澤 映男 議員



末で残り614件。

**問** 処理に当たっている人数と費用は。

**都市建設部長** 担当職員2名と嘱託が2名で計4名。費用は人件費が439万円と測量の費用が254万円。未登記地の解消はおおむね5年間をめどにしている。

**問** 50号沿線や北関東道のアクセスに「道の駅」を建設したらどうか。

**産業観光部長** 現在、群馬

県内の50号沿線に道の駅は建設されていない。地域活性化の起爆剤とすれば農業、観光、商工の側面から興味のある取組みだと思う。また一方では、桐生市場の管理会社が「道の駅の併設」を検討中だと聞く。

**大澤** 近頃では、スーパーでも地場産コーナーから店内を見る人が多い。みどり市の施設へ行けば産地の新鮮な野菜やみどり市ブラン

**問** 東日本大震災後、文部科学省は、学校施設を地域防災拠点として整備していく方針を打ち出したが、どのような情報を得ているか。

**教育部長** こどもたちの安全を図るという施設整備が必要である。学校が避難所として活用されるような場合を含めて、施設の安全性について、みどり市は、耐震化を進めている。構造の耐震化ばかりでなく、非構造部分の耐震化なども含めて強化を図る必要があると認識している。

**教育部長** 単に学校施設の問

**問** 雨水対策として道路側溝の管理は。

**都市建設部長** 側溝が詰まっていたために、水があふれてきたという通報などがある。側溝の管理などについては、十分注意をしていきたい。

**問** 大雨による、浸水、湛

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



杉山 英行 議員

## Q 県道桐生伊勢崎線の今後の取組みについて A 踏切の移転は可能であれば検討する

**問** 桐生大橋幹線道路の進展状況については。  
**都市建設部長** 1工区は50号のランプまでの1・1kmを平成24年度中に終了、その後2工区400mを施工する。  
**問** 薮塚インターのアクセス道路までの整備計画は。

**都市建設部長** 朝夕の慢性的な渋滞である。都市計画決定がされているが平成28年度以降になると思う。具体化していない。  
**問** 積極的に推進するように働きかけることは。  
**都市建設部長** 改良は市長会などの機会をとらえて県

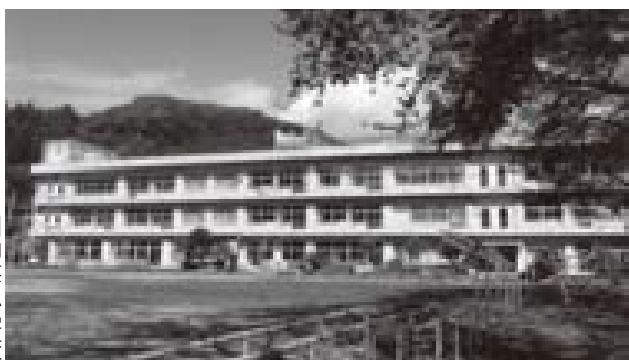
に要望する。  
**問** 県道の市道への管理移管については。  
**都市建設部長** 群馬日産桐生阿左美店から桜木十字路の区間は、今の工事が県道に接続後、桐生市、みどり市に移管する。  
**問** 管理移管後の県道市道の整備計画について、踏切の移転新設の考えは。  
**都市建設部長** 東武鉄道と県道市道が並行している。遮断機が降りると4方向で渋滞となる。可能であれば移転させたい。本線支線の状況を見ながら移転を検討、総合計画の重要な位置付けに。

**問** 岡登用水路周辺と県道市道の排水対策について、調整池の設置は。  
**都市建設部長** 雨水が集中する地形だ。用地が確保できれば調整池で受けることが可能だ。

**問** 道路行政について、個所付けした道路の説明は。  
**都市建設部長** 個所付けした道路は早期着手すべきだが、地主側や支障物件のこともあり、工事ができない

ドの商品が手に入るという利便性や生涯現役で農業を続ける人達のためにも10年、15年先を見越した施設づくりが必要だ。  
**問** 笠懸小学校の分離については。  
**教育部長** 平成23年度、新たに学校計画課を設置し、庁内の検討会議を開催して基本方針を確認しながら学区区を検討している。一般的に考えれば順調に行っても6年程度の期間が必要だ。特に、小学校新設となると2・5ヘクタール前後の土地が必要となり、笠懸町内

は、どこを選定しても農業政策上の影響が大きい。現在、関係機関との協議を行っているが、農地法改正により、民間の開発と全く同様の手続きを必要とするので更に長引く懸念もある。  
**問** 統合され、使用されていない校舎を公民館などに利用したらどうか。  
**市長** 校舎や教室を活用するのは一つの方法だと思うが、公民館のイメージになりの地域差がある。地域市民が使いやすい施設を含めた整備が必要だ。



▶旧神梅小学校

こともある。生活路線、計画路線も優先に行うところだが、着手できない路線がある。  
**問** 関係者に説明会をする考えはあるのか。  
**都市建設部長** 方法として回覧文書、区長、地域への説明会などを開催することを検討し、その方向でいく。



▶踏切





大間々町  
きっかわ なみ  
吉川 凡

## 魅力ある街に

以前、いくつかの街づくり事業に参加したことがあります。どこの街づくりも、ほんの個人的な問題や、何気ない会話が「きっかけ」になっています。活動していると、同じような人に出会います。そうやって、ネットワークが広がり、大きなプロジェクトも出るのだと思います。街づくりをしませんか？と発するのではなく、人が集まる機会を作ることの一つの案だと思っています。みどり市には、みどり市に合った街づくりがあるはず。普段の日常にある「きっかけ」を拾いあい、みんなで「かたち」にする。「街づくりに繋がる人づくり」これが必要だと感じます。



笠懸町  
齋藤 学

## 床下浸水について

昨年「ゲリラ豪雨」が世間を騒がせていますが、今年8月15日・24日に我が家も床下浸水を経験しました。自宅前の交差点は道路側溝から水が噴き出す状態でした。聞くところによると市内の各所で同様のことがあるとのこと。今後のためにも、下水、歩道付道路、LED街路灯、交差点停止位置など、見直していただきたいことが沢山あります。

厳しい時代ですが、先見の目を持って、将来を見据えた発展的発想と実行力で未来の子供達に自信と自慢の出来る街づくりを、行政と民意の代表である市議会議員の今後の活躍に期待したいと思います。  
ガンバレみどり市！



東 町  
小林あや子

## 身近に出来る防災

私は、東町商工会女性部の副部長をしております。女性部は通常の活動の他、「身近に出来る防災」をテーマとして、防災活動を行っています。先日、私達の地域の小さな沢が氾濫しました。幸いなことに、人的な被害はありませんでした。しかしヘドロが道路に流れ出し大騒ぎになり、災害を身近に感じた思いがしました。

私達は、平成19年から年3回ずつ防災講演会やAED講習会を行っています。消防署の職員の指導のもと、消火器の使い方や大声を出すことなど、いざ火事が起きたりもあわてずに行動できるように、皆真剣に行いました。これからも続けていく予定です。

## 編集後記

平成23年第3回定例会で、学校設置条例の一部改正を可決しました。

この条例改正は、平成24年3月31日をもって福岡西小学校を廃校し、4月1日より大間々北小学校に統合するものです。また、統廃合に伴うスクールバス購入費用を含む、一般会計補正予算も可決しました。

(武井 俊一)

### 次回定例会(予定)

**11月29日(火)から**  
午前9:30～

詳しい日程は、議会事務局へお問い合わせください。  
皆さんの傍聴をお待ちしています。  
問い合わせ ☎76-1970

### 編集委員

委員長	宮崎 武
副委員長	武井 俊一
委員	常見 詔子
〃	古田 島和茂
〃	須藤 健久
〃	蓮 孝道
〃	須永 信雄
〃	齊藤 潤